

令和8年6月4日(木)
令和7年度工学部教育企画委員会 FD 部会

令和7年度第2回教員相互授業参観（オープンクラス）に対するご意見・感想について

令和7年12月8日(月)～12月19日(金)に、令和7年度第2回教員相互授業参観（オープンクラス）を実施いたしました。いくつかご意見や感想をお寄せいただきましたので、以下に掲載いたします。

※掲載内容については、個人が特定されないよう一部改変しております。

《機械工学・システムデザイン学科》

- ・後ろから授業を拝見していて、授業中のラップトップやスマホの使用には気を付ける必要があると感じた。
- ・授業中に、各学生と1対1で向き合っている様子から、丁寧に対応されている印象を受けた。
- ・学生の考える力を伸ばそうとする授業方法だと感じた。その裏返しではあるが、不得意な学生、教員への負担が大きいのが課題とも感じられた。
- ・授業でなにを修得し、何をなすべきかを明示して講義を実施されているのが素晴らしい。最初に前回の課題の解答を画面上に示し、かつ配布しないのは良い方法だと思いました。また最初に本日の講義の概略を提示するのも良いと思いました。
- ・少し早い時期とは言え、冬休み前に評価に関する情報を流すのは、学生が「やり直し」がきく時期であるという意味で良いと思いました。また番号で学生をあてていくのはうまいやり方だと思いました。そして学生が割とおとなしく聞いているようであったことが印象的でした。
- ・自身の講義と受講者が重なり、板書中心の講義ということで拝見させていただきました。黒板の使い方や話し方など参考になる点が非常に多く、大変勉強させていただきました。ありがとうございました。
- ・Zoomを利用したオンライン授業であったが、1度の授業内で3~4択クイズがかなり多く用意されており、回答方式もリアクション機能による短時間のスタンプを学生が押せばよく、場合によっては対面授業よりもインタラクションがあって効果的かもしれないと感じた。また前回授業の復習に30分程度の時間をかけており、おそらく遠隔授業ならではの理解度を高める工夫なのだと思われた。
- ・10時過ぎてから教室へ伺いましたが、もう授業が終わっている感じでした。その時間帯はWebClassを活用されているのでしょうか？
- ・基礎的な数学の講義ですので、板書を基本とされるしかないと思います。黒板を見ている学生は20%位しかおらず、大半の学生が授業と関係無いことをしていました。

- ・スライドを活用されており、同じ内容が WebClass にアップされているようです。プロジェクタの投影がスクリーンの黒いところになされており、見にくい感じでしたので、配慮していただきたいです。

《電気電子物理工学科》

- ・誘電率 ϵ の帯電した誘電体球の作る電位の問題を説明しておられました。ガウスの法則で電場を求め、無限遠を基準点にして電場を積分することで求めていました。符号変えず、測定点から基準点まで電場を積分する、という表式でした。後の口頭説明からすると、電場に抗って基準点からその位置まで持ってくる仕事のように説明されていたので、元々の電位を求める式もそのようにしてもいいかもしれません。板書は後ろからも十分読める大きさと書かれておりました。喋るスピード、声の大きさも十分であり、丁寧に講義されておりました。物理学科出身者として科目担当を引き受けられたため、大変なご苦労をされておられるのではないかと推察いたします。高校数学未習と思しき大学初年次生相手に、電磁気学を教えなければならない状況、心中察し申し上げます。似たような状況にかつていた身として共感します。入試で数学を必須としない学科で教えておられる先生のご苦労には及びませんが「他にも似たような状況の教員がいた」ということを知って頂けましたら幸甚に存じます。
- ・小テストを講義開始時に実施しているので、学生が直ちに組み込んで講義に入っているのが印象的だった。前回の復習+遅刻防止に良い効果がありそう。講義中盤の例題が成績評価対象外の様子だったが、評価対象にしても良いのかも。マイクに息がかかる音が大きい感じなのでマイクの位置を調整するとさらに良いかも。
- ・説明だけでなく、学生にちょっとずつ問題を解かせていくことで理解を深めさせているようだった。自身の授業でも取り入れていこうと思った。
- ・各回で出題する課題の難易度が基礎から発展まで広くばらついていて、評価指標として良く機能しそうだと感じた。

《情報工学科》

- ・既にある資料でさらっと説明するのではなく、問題をその場で一緒に解きながら、受講生に理解できたかを一つ一つ確認して進めている点が大変参考になりました。
- ・前回出された小レポートの解説から始まり、よい復習になっていると思った。講義で使用するスライドにペンの軌跡を表示することで、注目すべき箇所がわかりやすく示されていた。
- ・参考になった

《応用化学科》

- ・学生がグループワークやプレゼンテーションを通じて、主体的に授業に参加している姿が

印象的でした。専門的な内容にもかかわらず、事前の準備がしっかりと行われており、活発な議論が交わされている点に、この授業形式の有効性を感じました。

- ・うまく講義されていますが、公聴されている学生さんの数が少ないのが残念です。
- ・ゆっくりと話されていたのが印象的でした。話し方 1 つで学生の理解度に影響すると思いました。

《環境社会デザイン学科》

- ・丁寧なプレゼン資料で実例（いくつかの自治体の取り組み）を紹介ながら、分かりやすく要点を説明していた。しかし、講義内容の廃棄物関連の法規制は学生にとってはやや馴染みが浅く、実感的に解釈することが難しいのではと感じた。

以上